

地域協働かわらばん

つながる



(輪・和・WA…)

ワ!

第4号(平成24年2月1日発行)
発行:盛岡市地域協働推進事務局〒020-8530盛岡市内丸12-2
Tel.651-4111(内線3851)E-mail
chiikikyodo@city.morioka.iwate.jp

1 地域づくりセミナーを開催

市民の皆さんの地域協働への理解を深めていただくため、1月28日に平成23年度地域づくりセミナーを開催しました。

セミナーでは、はじめに地域協働モデル地区の方を中心として昨年9月から開催された地域協働講座の受講生の皆さんによる講座の成果発表を行いました。



(講座の成果発表の様子)



(倉原教授からの情報提供)

次いで、岩手県立大学総合政策学部の倉原宗孝教授から、「まちづくりを進めていくためには、活動を通じて自己実現を図っていくことの大切さ」や、「自らの思いと行動で可能性を開いていくこと」、「仲間の人生に寄り添い、そして自らを開いていくことの重要性」などについて、情報提供をいただきました。

最後に、倉原教授と地域協働講座の受講生による意見交換を行い、地域協働を進めていくために、地域活動への参加者をいかに増やしていくか、といった点について議論されました。

受講者の方からは、「魅力的な活動の展開の必要性」や、「できるところから地道に活動への理解を深めてもらうこと」、「代表者の熱意が必要」といった意見がありました。



(意見交換会の様子)

2 モデル地区訪問～第1回 青山地区

地域協働モデル地区では、ワークショップやアンケート調査の実施など、地域づくり計画の策定に向けて活動が進められています。

今回は、青山地区にお邪魔し、活動の主体である青山地区まちづくり協議会 遠藤政幸会長から、お話を伺いました。



青山地区まちづくり協議会長
遠藤 政幸さん

◆地域協働に取り組んだきっかけは何ですか？

これまでも青山地区では個々の団体が活動し、成果を上げていますが、これからは各種団体が一つのテーブルについて、意識を共有しながら、地域のまちづくりを考える機会としていきたいと考え、地域協働に取り組むことにしました。

◆地域協働に取り組んでみての感想はどうですか？

市内でも初めての取組のため、地域の皆さんに地域協働について十分浸透していないことや、誰が主体となって取り組むかという部分については戸惑いもあるようですが、当初よりも理解されてきたのではないかと思います。若い世代の皆さんからも前向きな意見やエールをいただいています。

◆今後の抱負をお願いします！

青山二丁目に「盛岡ふれあい覆馬場プラザ」が今年6月にオープンし、新たな活動の拠点ができることとなります。この施設を活用して取り組みたいことや夢はたくさんありますが、一つ一つ着実に実現していきたいと思っています。

◆今後、地域協働に取り組む皆さんに一言をお願いします！

地域協働には早く取り組んでいただいた方がいいと思います。取り組む上で、いろいろと課題はあると思いますが、まずは取り組んでみていただきたい。町内会にとっても負担が増えるのとらえるのではなく、これを機会に課題解決を進めていくと考えていただければと思います。さまざまな団体がそれぞれの長所をさらにまちづくりに反映させることができるといいですね。

今月の1コマ



9月から始まった地域協働講座も、1月28日の地域づくりセミナーでの発表をもって終了しました。

地域づくりセミナー終了後には閉講式を行い、東藤盛岡市地域協働推進事務局長から修了証を受講生の皆さんにお渡しいたしました。

全7回、5か月にわたる講座でしたが、熱心な受講生の皆さんのご協力により、充実したものとなりました。

受講生の皆さんの今後の地域での活躍を期待したいと思います。